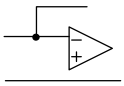
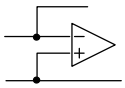
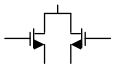
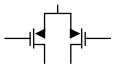
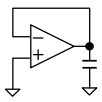
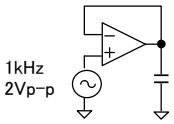
OPアンプ活用　成功のかぎ　正誤表(第1版)

章	ページ		誤	正
	32	上から17行目	入力レール・ツー・レール型や単電源型は，・・・	入力レール・ツー・レール型は，・・・
		図1-A(c)		
第2章	41	図2-3	一番上の「左図から次式が成り立つ　$V_{out}=A_oV_{inx}$」	削除
第3章	69	コラム下から4行目	-1dB減衰する周波数・・・	ndB減衰する周波数・・・
	78	下から7行目	$Zx = R7 + R3 // R5 \times = \frac{1}{\sqrt{1+\left(\frac{f}{fc}\right)^2}}$	$Zx = R7 + (R3 // R5) \times \frac{1}{\sqrt{1+\left(\frac{f}{fc}\right)^2}}$
	81	図3-22(a)	図中の「＋」記号	×（流れないという意味）
	91	写真3-B	出力信号の0Vの位置	写真3-Aと同じ
		写真3-B	吹き出し「出力信号2Vp-p」	「出力信号」
	102	図4-12	説明文「カップリング・コンデンサもバイアス回路も不要」	削除
		下から2行目	前述のように，直流性能の良いアンプは両電源のほうが・・・	直流アンプは両電源のほうが・・・
	106	下から3行目	抵抗(Q3, Q5, R1とQ4, Q5, R2)の・・・	抵抗(R1とR2)の・・・
	115	下から3行目	OPアンプの入力部に直流電圧を・・・	OPアンプの入力部に直流電流を・・・
	119	図4-35	吹き出し「データシートに記載されている同相入力電圧．実測値とほぼ一致する」	データシートに記載されている同相入力電圧範囲
	121	上から9行目	非反転積分回路は＋側と－側に・・・	差動積分回路は＋側と－側に・・・
		上から11行目	非反転積分回路と反転アンプや・・・	（反転）積分回路と反転アンプや・・・
		下から8行目	図4-39の積分回路のコンデンサC1には，・・・	図4-38の積分回路のコンデンサC1やC2には，・・・
	123	図4-39(a)	キャプション「一般的な構成」	差動積分回路
		コラム5行目	コンデンサC2や・・・	コンデンサや・・・
	153	上から2行目	第3章の反転アンプに使った・・・	第3章の非反転アンプに使った・・・
		写真5A-1	キャプション「図3-1の反転アンプの・・・」	図3-1の非反転アンプの・・・
		下から8行目	両アンプはシングルエンド信号とみると・・・	両アンプの出力をシングルエンド信号としてみると・・・
	156	図5A-7(a)	キャプション「入力信号と出力信号の変化」	入力信号とオフセット電圧の変化
		図5A-8	縦軸「ゲイン」	レベル
	157	図5A-9(a)		
		上から1行目	・・・を入力して出力信号を観測・・・	・・・を入力してオフセット電圧の変化を観測・・・
		図5A-10	縦軸「ゲイン」	レベル
	165	式(5B-12)	$B_N = f_c \frac{f_{c4}}{32\sqrt{\sqrt[4]{2}-1}}$	$B_N = \frac{5\pi}{32\sqrt{\sqrt[4]{2}-1}} f_{c4}$
	166	式(5B-14)	$-\frac{2}{q}$	$-\frac{q}{2}$
	168	上から5行目	波高率は4.4なので次のように・・・	波高率を4.4とすると(表5B-3参照)，次のように・・・
第6章	175	図6-5	図中吹き出し「Aopen β =0より・・・」	｜Aopen β ｜=1より・・・
第7章	198	下から3行目	・・・誤差(CMVエラーの測定時など)に直流・・・	・・・誤差(CMVエラー)の測定時などに直流・・・
	200	下から3行目	Ao(jω)β(jω)＝1倍(0dB)	｜Ao(jω)β(jω)｜＝1倍(0dB)
	203	下から9行目	ドミナント・ポール(図7-7)が出力抵抗と容量性負荷で決まる周波数(図7-7の左方向)まで低下するからです．	ドミナント・ポール(図7-7)より低い周波数(図7-7の左方向)に，出力抵抗と容量性負荷で決まるポールが生じるからです．
		図7-8		
	263	図9-D	キャプション「・・・LMH6702とOPA846IDの高調波ひずみ」	・・・LMH6702の高調波ひずみ
第10章	265	導入部1行目	低雑音OPアンプ・・・解説します．	削除
		導入部5行目	OPアンプです．	アンプです．
	266	下から5行目	・・・はOPアンプの基本性能の一つで，・・・	・・・は差動アンプの基本性能の一つで，・・・
	280	図10-18	(c)AD8200YR	ピン配置図ごと削除
	285	下から7行目	AD8200YRは測定しませんでした．	削除
	286	上から3行目	・・・特徴をもつ差動OPアンプです．	・・・特徴をもつインスツルメンテーション・アンプです．
	287	上から11行目	・・・十分に大きいと考え，分圧比は約1倍にしました．	・・・十分に大きいと考え，どちらの場合も分圧比は約1倍と考えました．
	290	図10-29説明文	したがって測定値[dB]－差動ゲイン[dB]を求めて補正する．	通常のPSRRは，測定値[dB]－差動ゲイン[dB]を計算して求める．
第11章	300	上から1行目	入力側電源回路の安定化電圧が，・・・	入力側電源回路の電圧が，・・・
		上から2行目	出力側電源回路の安定化電圧が，・・・	出力側電源回路の電圧が，・・・
	308	上から10行目	アイソレーション・アンプと後出のディジタル・アイソレータを評価する・・・	アイソレーション・アンプを評価する・・・
	310	下から9行目	・・・I/Oの出力電流は，FIFOに入力・・・	・・・I/Oの出力電流は，FPGAに入力・・・
	316	下から7行目	文献(8)によると，・・・	文献(6)によると，・・・
第12章	323	下から9行目	によってグラウンド電位を揺さぶります．	に流れグラウンド電位を揺さぶります．
	326	下から9行目	・・・いけません．入力バイアス電流の影響を抑えたい場合であっても，RFの値は数百Ω程度にしておきます．図12-8で説明したとおり，・・・	・・・いけません．図12-8で説明したとおり，・・・